統計情報の収集について(補足)

2016/05/31(火)

# 各項目の補足

前回の定例会で新たに提案された点や、時間の関係で詳しく説明できなかった点などを補足したいと思います。

## (1)企画書の効果の調査について

具体的には以下のようなイメージで調査を行います。

### 数値化できるもの：審査委員の当日調査、事前の調査

　　例：「筑駒メッセ」：どれだけの応募があったか、各団体の展示の規模

### 数値化できないもの：文化祭後の生徒アンケート、校内アンケート

例：「準備要綱の編成変更」：とても分かりやすくなった～分かりにくくなった、の5段階評価

　初の試みなので、数値については前年度との比較ができないことがマイナスポイントかと思われます。

　また、本企画そのものに関しても統計を取ります。

## (2)主要ポイントの来客状況調査について

第一に、混雑しそうなところをイメージしています。

例：ロータリー付近、ピロティ

また、特別班関連のデータを取ります。

　食品班：メニューごとの列の人数、食事スペースの混雑具合(人数÷総席数)

　ステージ班：ステージ前の来客状況(カウントの仕方は検討中)

　縁日班：各アトラクの列の人数、競りの参加人数

　喫茶班：列の人数(新企画については今後検討)

　演劇班・コント班：列の人数

各データとも、どのタイミングでデータを取るか、収集の委託はするのか、といった点が未定です。

## (3)各デコの来客状況調査について

例年受付係を常駐させる団体が殆どなので導入はそこまで難しくはないと考えています。

計測用のカウンターは、108円(税込)のものを団体分購入し、記録用紙とともに配布したいと考えています。

カウンター：<http://www.dena-ec.com/item/178572247>

記録用紙：時間帯を指定し、それに応じて書き込めるようなものにします。

## (4)来校者アンケートについて

まず、導入が簡単である点とある程度の回答を見込める点から、Google Formでのアンケートは少なくとも実施します。リンクをHPに貼り、パンフなどの広報物にQRコードを載せます。

Google Form：<https://www.google.com/intl/ja_jp/forms/about/>

問題となっているアンケート方法ですが、実現の可能性があるのは以下の3つかと思われます。論点とともに説明します。

### パンフレットに添付

　パンフレットにアンケートを印刷したA5～B5程度の紙を挟んで回答してもらい、それを回収する、というものです。用紙がゴミになってしまうのではないか(①)、回答する筆記用具はどうするのか(②)、といった問題が考えられます。

　①の点は、回避しようがないと考えられます。しかし、挟むだけにせず、糊か何かを使うことによって落ちにくくする、といった対策は可能です。

　②の点は、回収場所などで筆記用具を貸し出したり簡易式のペンを用意したり、といったことで対策できると考えられます。

### 簡易パンフレットに掲載

簡易パンフレットのサイズがa4からb4になるそうなので、その差分のスペースにアンケートを載せます。パンフレットに添付する場合の①の問題はなくなりますが、②の問題はありますし、さらに紙の質から考えて書き込みにくいと考えられます。さらに、スペースが狭いため聞ける内容が少なくなります。

### 回答専用スペースの設置

専用スペースとして、高校昇降口インタミ付近、朝日の広場とパフォーマンスストリートの間、大衆賞箱付近、3号館と5号館の間の通路の4か所を提案します。

出口付近の設置は混雑を招く恐れがあるので行わない予定です。シールアートの廃止も行わないでおく方針です。

この案は他との両立が可能なので、十分に導入の余地があると考えられます。

また、回答のインセンティブについて疑問が残る面もあると言えます。基本的には、アンケートの協力のお願いを各方面で行って喚起する方針です。場合によっては、回答後に抽選で景品、ということも考えられます。このあたりの議論は、具体的にどのようなアンケート案を実施するのかが定まってから調整したいと思っています。

## (5)データの保存について

Microsoft OfficeのAccessを使っていきたいと考えています。

Access：<https://products.office.com/ja-jp/access>

　新ソフトの導入となるので、これを選んだ理由を説明します。

### 手段として適している

似たようなソフトにExcelがありますが、あくまでこれは表計算ソフトです。しかしAccessはデータの管理専用のソフトなので、データのフォーマットに制約をつけられたり、アプリケーション化できます。今後のことも考慮に入れて、今回の企画に最も適していると判断しました。

### 他部門での使用

機材貸し出しにバーコードを使うという新企画で、Accessを導入しようか検討している、との話がありました。2つの企画が必要としている点からして、十分に需要があると言えます。

松岡(審査)